

横浜市立岡津中学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
かけがえのない生徒一人ひとりの自己実現を支援するために ○ ねばり強く学び続ける（知） ○ 善悪の判断ができ、相手の気持ちを大切に（徳） ○ 自他の生命を尊重し、心身ともに健康な生活ができる（体） ○ 地域社会の一員として行動する（公・開）	主体的に自分の思いを表現していく力
力を育みます。	

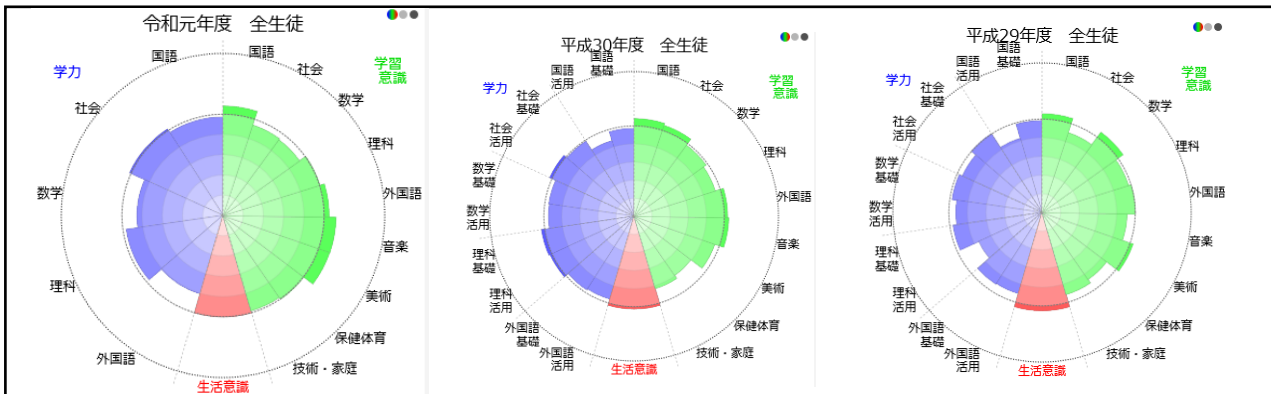
(2) 中期取組目標

中期取組目標
○ 『チーム岡中』として、全教職員同じベクトルで未来を担う生徒の育成に取り組みます。 ・ 個に応じた指導を充実させるとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びに向けた授業を目指します。 ・ 挨拶を大切に、自尊感情・自己肯定感を高め、互いの違いを認め合う人間尊重の精神を育てます。 ・ 心と体を一体としてとらえ、学校生活や生涯を通して積極的に運動に親しむ資質や能力を育てます。 ・ 社会的視野を広げ、社会の一員としての自覚と責任を高めるとともに郷土愛を育てます。 ・ 小中一貫教育を推進するとともに地域や家庭、関係機関との連携を深め、地域に根付いた、開かれた学校を目指します。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知 担当 学習指導部	①校内授業研や小中一貫ブロック授業研において積極的に授業を公開し、生徒が主体的に取り組む授業を目指す。②小中・各学年における分析チャートや生徒・保護者による授業評価を活用して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を行う。

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握(昨年度は未実施のため前年度より引用)



(1) 学力の概要と要因の分析

ここ数年の結果では、横浜市の平均との比較において学力の状況は全体として向上していたものの、昨年度は多くの教科で下回る結果となった。また、学習意識・生活意識は、横浜市の平均的な水準になってきたとみられる。結果を精査し、引き続き、授業改善に取り組み、基礎・基本の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現を進めていくことが大切である。

(2) 教科学習の状況

横浜市の平均との比較において、課題が見られる観点には以下の通りである。(学年は令和元年度)

- 国語：1年「読む」2年「話す・聞く」「知識・理解・技能」3年『全観点』
- 社会：1年「思考・判断・表現」「知識・理解」3年「思考・判断・表現」「知識・理解」
- 数学：1年『全観点』2年『全観点』3年「技能」
- 理科：1年『全観点』2年「科学的な思考・表現」「観察実験の技能」3年「科学的な思考・表現」
- 外国語：1年『全観点』2年「聞くこと」「言語に関する知識」3年『全観点』